



サイコロを振る子どもたちの歓声が響く館内

お正月は凧博物館で運試し＆初笑い 凧合戦も楽しめるリアルすごろく大会

「新春凧合戦リアルすごろく大会」が1月3日、凧博物館で開かれました。サイコロの数だけ館内を進みながら、「ガガリ」や「風」などの凧合戦にちなんだカードを集めて得点を競うゲームで、参加した70人はマスに書かれた指示に一喜一憂。兄弟で参加した川野言さんと湊人さん(天神小)も「楽しくて2回もした」「金のガガリカードで高得点が取れた」と声を弾ませて喜んでいました。



しめ縄などを燃やして五穀豊穡や無病息災を願う

地域みんなの健康と幸せを祈って 町内各地で恒例行事の「どんど焼き」

正月飾りなどを持ち寄って焼き、新年の健康を祈る「どんど焼き」が町内各地で行われました。八日市・護国地区町並保存会主催(芳我明彦会長)のどんど焼きは1月7日、清正ひろばで行われました。ぜんざいの振る舞いなどはありませんでしたが、芳我さんは「皆さんの顔が見られてよかった。火にあたるだけでもご利益があると思うので、1年間元気に過ごして」と笑顔で話しました。



黒猫の衣装がかわいい小泉さん(右)と上田さん

小泉今日子さんが内子座で初コンサート 「黒猫同盟 Tour 2023 UNDEUX !!」

小泉今日子さんと音楽家の上田ケンジさんが結成した「黒猫同盟」のコンサートが1月21日、内子座で開かれました。小泉さんが内子座での朗読会をプロデュースしたことが縁で、今回の公演が実現。「内子座の歴史の1ページになれた」と話す小泉さんに、満員の会場から大きな拍手が送られました。来場者は「キョンキョンに会えてうれしい」「来てくれてありがとう」と熱気冷めやらぬ様子でした。



広報紙町部で特選を受賞した12月号

県市町広報コンクールで3部門入選 特選の広報紙町部は11年連続で全国へ

愛媛県市町広報コンクールが1月19日に開かれ、『広報うちこ』が広報紙町部で特選、1枚写真・組み写真の各部で佳作を受賞。講評では「多くの人が登場し、町民でなくても楽しめる」「前向きな住民の姿が心に響く」との評価を受け、主役である町民の皆さんの笑顔や頑張る姿があるからこそその受賞と分かります。いつも協力してくれる皆さん、応援してくれる皆さん、本当にありがとうございます。

赤ちゃんとお母さん・お父さんから学んだよ 生まれてきた命の尊さ、かわいさ、あたたかさ

「いのちの授業」が11月29日、大瀬中学校で行われ、生徒たちが赤ちゃんとのひとときを楽しみました。この授業は小さな命と関わる機会が減った中学生に、子育て中の保護者から話を聞き、生み育てることや親になることなどを考えてもらうもの。生徒たちは自分たちも大切に育てられたことを感じながら、保護者に「子育ては大変ですか」「大切にしていることはありますか」と、熱心に質問していました。



楽しそうに赤ちゃんをあやす中学生

想像を超える演奏と演技力 大阪桐蔭の生徒たちが内子を魅了

「大阪桐蔭高等学校吹奏楽部特別演奏会」が12月11日、文化交流センタースバルで開かれました。町内の中学生や高校生も招待され、町民が優れた文化芸術に触れる機会となりました。公演では大河ドラマのテーマ曲など、幅広い世代が楽しめる曲が続き、『エリザベート』では生徒たちがミュージカルを熱演。観客は「素晴らしい一言」「涙が出るほど感動した」と、大きな拍手を送っていました。



聴きごたえ十分の吹奏楽ミュージカル

内子町が観光まちづくりを学ぶ舞台に—— 國學院大學と内子町が相互連携を約束

「内子町と國學院大學との相互連携及び協力に関する基本協定」の締結式が12月17日、内子自治センターで行われました。4月から「観光まちづくり学部」を新設した同大学と町が協力して、地域社会の発展や人材育成の推進を目指します。針本正行学長は「観光まちづくりの先進地である内子町で学ばせてもらい、地域貢献できる人材育成に尽力したい」と力を込めました。



協定書を手にする針本学長(右)と小野植正久町長

防災モデル校として取り組んだ6カ月—— 学んだのは「日ごろからの交流の大切さ」

「学校防災教育実践モデル事業」の一環で、内子小学校と内子高校の合同防災学習会が12月16日、同小学校で行われました。参加者は講師の上野祥子さん(熊本レクリエーション協会)とのゲームを通じて、避難所での心のケアや交流の大切さなどを学びました。同小では6～12月の半年間、地域安全マップの制作、起震車による災害体験などを実践し、児童の防災意識を高めてきました。



次第に打ち解ける子どもたちの姿に交流の大切さを実感